愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	吉村 道孝	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

総合演習I･IIを通じて、学術調査の基礎的なスキルや、論理的展開について学習することを目的とるす。また、調べた成果をまとめ、プレゼンテーションおこない、他者に効果的に伝達することを学習する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式でおこなう。おもにグループを作成し、グループごとに作業当をおこなう。そのため、主体的に貢献する姿勢を求める。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	進捗確認	長期休みの過ごし方と今後の展開について確認する。	□
第2回	「健康実践演習」の準備１	講義の内容を決め、進行を決める。	□
第3回	「健康実践演習」の準備２	講義で使用する資料の作成。	□
第4回	「健康実践演習」の準備３	講義での役割分担や資料を作成する。	□
第5回	「健康実践演習」のリハーサル	「健康実践演習」の実施に向けて最終調整をおこなう。	□
第6回	「健康実践演習」の指導1	１年生のクラスに自分たちが調べた内容について講義する。	□
第7回	「健康実践演習」の指導2	１年生のクラスに自分たちが調べた内容について講義する。	□
第8回	「健康実践演習」の指導3	１年生のクラスに自分たちが調べた内容について講義する。	□
第9回	「健康実践演習」の振り返り	１年生の「健康実践演習」の振り返りをおこなう。	□
第10回	ディスカッションの準備	グループを作り、テーマ設定をおこなう。	□
第11回	ディスカッション２	グループにわかれて、ディスカッションをおこなう。	□
第12回	ディスカッション３	グループにわかれて、ディスカッションをおこなう。	□
第13回	司法における心理支援について調査する	犯罪の加害者・被害者の支援について調査する。	□
第14回	司法における心理支援について発表する	実際の裁判記録等を調査して心理支援について学習する。	□
第15回	まとめと質疑応答＆専門演習の説明	総合演習のまとめ	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習：グループで設定したテーマに関する情報収集をおこなう。また関連する領域の最新研究についても常にアップデートをおこなう（2時間）。事後学習：演習で学んだ点や、指摘された点について自分で考え、さらに情報収集を進める。（2時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

個人やグループの進捗やテーマに応じて、課題やタスクが毎回設定され、その振り返りをおこなう。プレゼンテーションや論文は適宜添削をおこない返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	１．常にゴールを意識し、遅延なく計画をマネージメントできる。２．データ分析やプレゼンテーションなど、理論的な展開と作業ができる。３．人を対象とした研究指針や、個人情報保護法など、法令や規則を理解できる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	１．常にゴールを意識し、遅延なく計画をマネージメントできる。２．データ分析やプレゼンテーションなど、理論的な展開と作業ができる。３．人を対象とした研究指針や、個人情報保護法など、法令や規則を理解できる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	１．常にゴールを意識し、遅延なく計画をマネージメントできる。２．データ分析やプレゼンテーションなど、理論的な展開と作業ができる。３．人を対象とした研究指針や、個人情報保護法など、法令や規則を理解できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

演習科目であるので、グループワーク・ペアワークなどの取り組む姿勢を「その他」として評価とする。また、毎回振り返りや小レポートをおこない、理解力や達成度を「授業内試験」として評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		